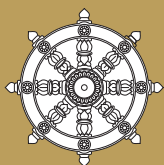


# ZENBUTSU 全仏

No.  
630



仏暦 2560 年 6 月  
[2017 年]

## CONTENTS

仏教に関する実態把握調査	2~5
第 1 回広報委員会開催	6
第 2 回総務財政審議会開催	
第 6 回監査会開催	
全日本仏教会特別企画 京都東山の名刹 特別拝観ツアー	
録事・平成 28 年熊本地震県別被災寺院数の報告	7
各地の花まつり	8



公益財団法人

全日本仏教会

WFB (世界仏教徒連盟) 日本センター



特別拝観ツアー (青蓮院門跡青龍殿)

# 仏教に関する実態把握調査

全日本仏教会（以下…本会）は、伝統仏教界の現状の把握と未来に向けた「仏教文化の宣揚」の基礎資料となるべく、一般の方を対象としたインターネット調査を実施しました。

本会が財団法人として認可を受けてから、今年で六十周年を迎えます。本年十月には記念式典と全日本仏教徒会議福島大会を福島県郡山市で開催し、来年には世界仏教徒会議日本大会を千葉県成田市と大本山總持寺（神奈川県横浜市）で実施します。六十年という節目とともに変化が激しい時代の中で、仏教文化がどのように人々に浸透しているかを把握することは、重要であると認識しています。本紙面では調査内容の一部をご紹介します。

## ● 調査概要

### （名称）

仏教に関する実態把握調査

### （目的）

現状の仏教文化の認知状況や信仰実態を調査し、仏教の伝達促進の基礎資料とするため

### （有効回答数）

【事前調査】 10,000サンプル

【本調査】 6,994サンプル

### （調査時期）

【事前調査】 二月十五日～  
二月二十二日

【本調査】 二月二十日～  
二月二十二日

（調査主体）

公益財団法人全日本仏教会  
大和証券株式会社

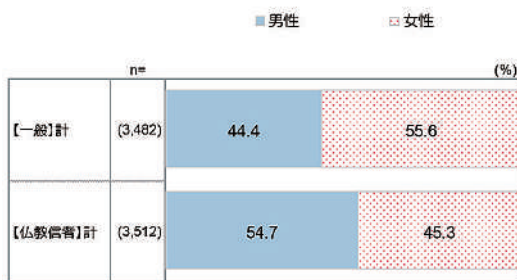
（調査実施機関）

株式会社マクロミル

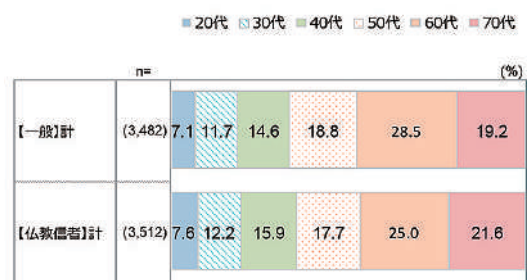
※その他調査概要は本会 web サイトをご覧ください

## 回答者プロフィール

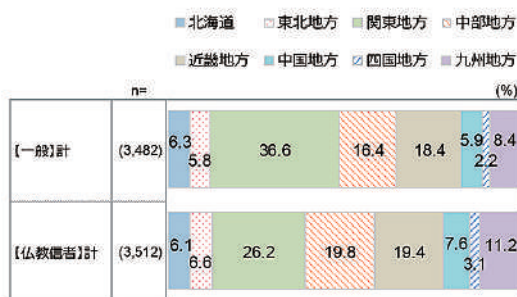
### 性別



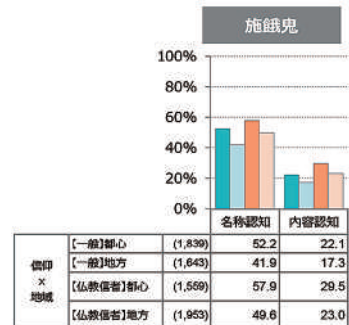
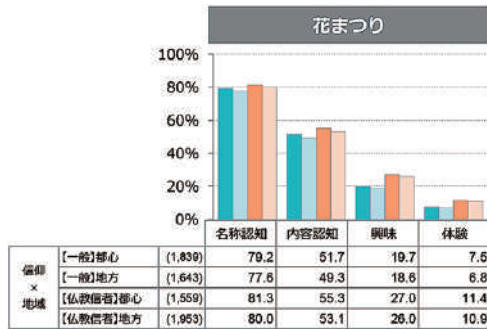
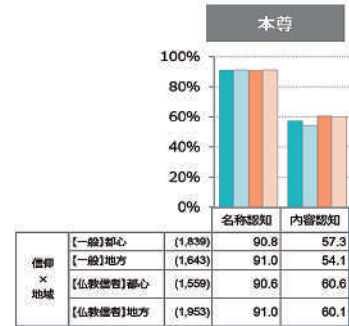
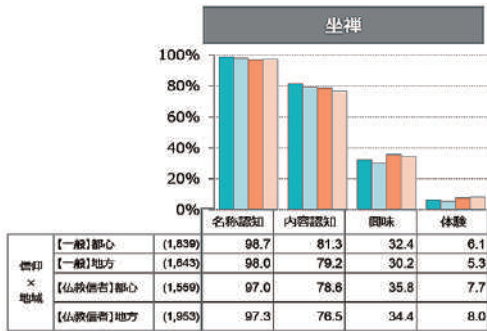
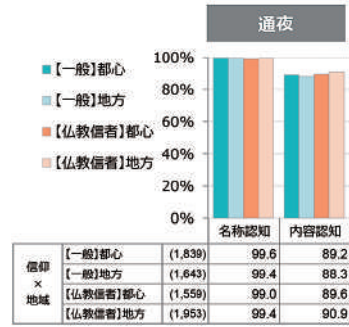
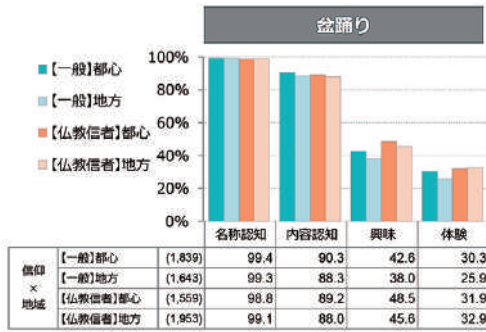
### 年齢（10代きざみ）



### 居住地



## 仏教文化についての認知・興味・体験について



※一部のみ掲載

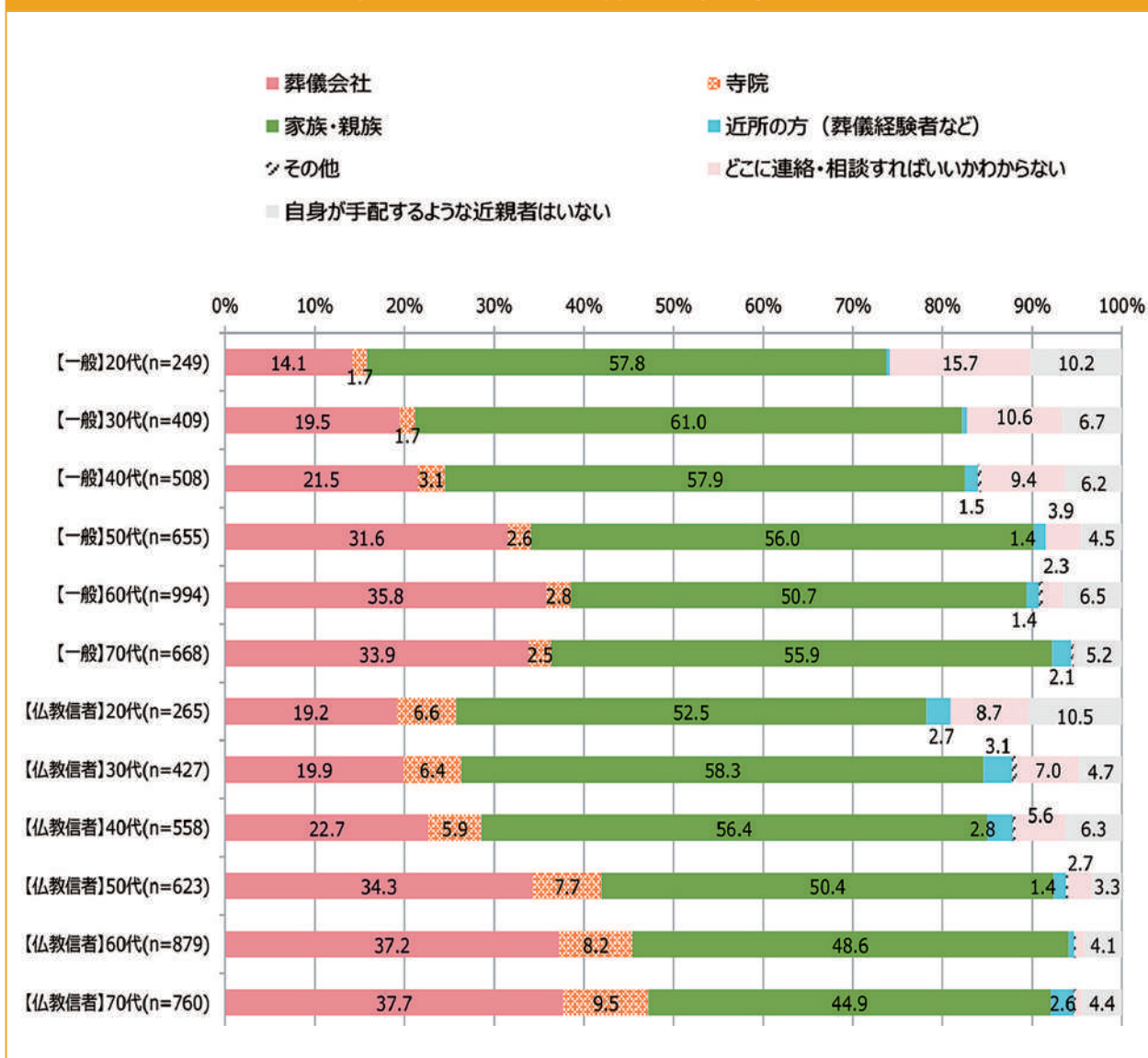
### ● 体験の窓口・意味の発信が必要

仏教文化の認知を知るため、盆踊りや写経など体験を伴う事項と、一般的な仏教にまつわる言葉について、「名前を知っているか」「内容を知っているか」「興味はあるか」「体験したことはあるか」を聞いた（言葉は名前と内容のみ）。盆踊りや坐禅などの体験を伴う事項は、名前や内容は高い認知率ではあるものの、「興味がある」や「体験したことがある」になると下がる傾向が見受けられる。「興味がある」数値が高い事項は「体験したことがある」数値も高くなることから、「興味をもってもらう」ことを目的とした情報発信やメディア露出を強化することの重要性が見えてくる。

また「興味をもってもらう」施策と同時に、体験できる機会の窓口を紹介することにより、興味から行動に移すまでの機会を拡大することが可能となる。この一連の流れにより、興味をもってもらった後の仏教に関する満足度を上げることにもつながる。

一般的な仏教にまつわる言葉は「通夜」「初詣」など比較的身近な言葉に関する名称と内容認知は高い。一方で、「お釈迦様」「本尊」「極楽」などの基本的な仏教用語や、「枕経」「施餓鬼」など寺院には身近な事柄については、数値が低くなっている。核家族化や都市部への人口集中などの外部環境が家系の仏教伝承に大きな阻害要因となっていることもあるが、伝統仏教界、すなわち寺院、僧侶、宗派から、檀信徒・門徒に向けて、様々な言葉の意味と、その行為・作法がなぜ大切であるのかを積極的にかつ正しく発信する必要性を感じる調査結果になっている。

## 近親者が亡くなった際の連絡・相談先



### ● 受け継がれた儀式を知ってもらう

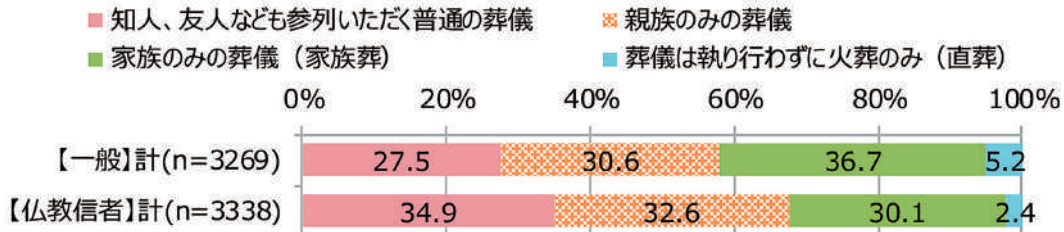
葬儀にまつわる設問では、近親者が亡くなった場合と自身が亡くなった場合における、連絡先や相談先、執り行いたい葬儀、葬儀に来てもらいたい僧侶を聞いた（上記表は近親者が亡くなった場合）。年代によってばらつきがあるものの、連絡先はどちらの場合も「家族・親族」がもっとも多く、次いで「葬儀会社」であり、「寺院」は少数意見だった。当然寺院に相談できる、普段からの関係性構築はいうまでもないが、「家族・親族」に相談する際、相談された側は過去の経験とともに、マスコミやWebの情報も参照することを考えると、各宗派の葬儀に関する相談先に留まらず、葬儀や執行の意味、葬儀の歴史、位牌・仏壇の言葉、作法など周辺の情報を含めた発信の強化が重要であると考えられる。同時に、発信するだけに留まらず、実際に認知してもらったための施策も並行して実施する必要がある。

一方で年代が若くなるにしたがって「どこに連絡・相談すればいいかわからない」割合が高くなっていく。様々な選択肢がある中で、前述した情報発信は、時代が変化しながらも継続してきた儀式を知ってもらう上で、より重要性が高い。

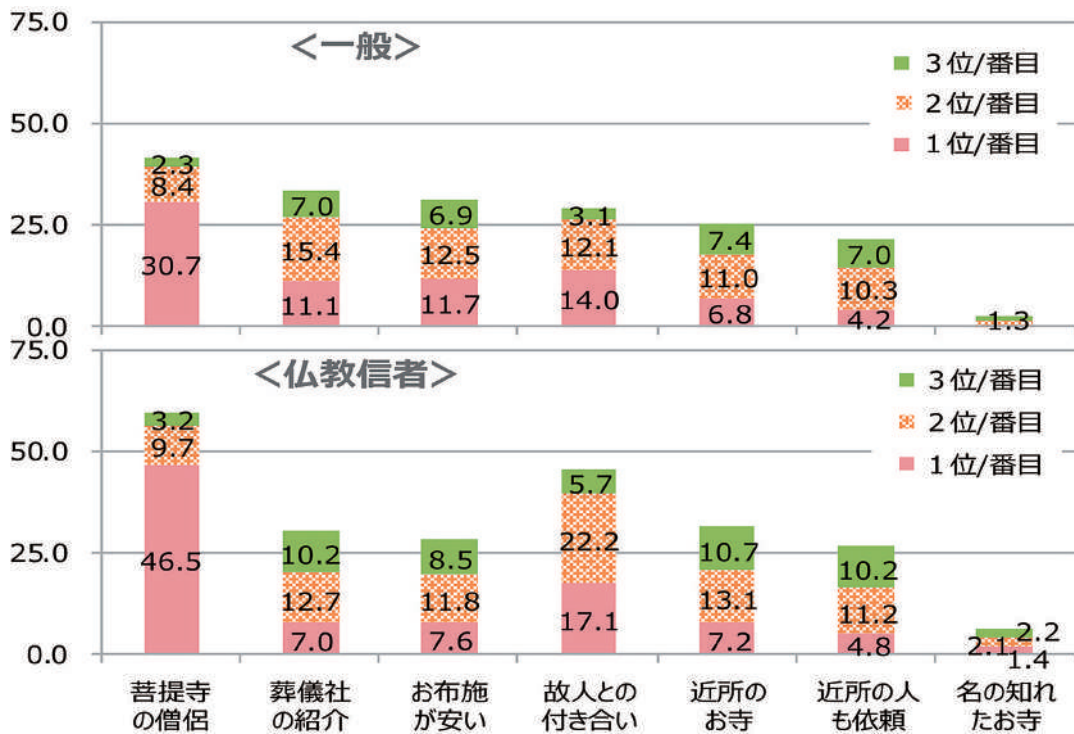
### ● 「家族葬」と「菩提寺僧侶」

近親者が亡くなった際に執り行いたい葬儀では、家族葬の定義が曖昧であるが、仮に「家族と親族のみ」にすれば六割ほどの方が望んでいることになる。また、葬儀に来てもらいたい僧侶では「菩提寺の僧侶」が最も高く、「故人との付き合い」がある僧侶が続いた。菩提寺の僧侶は法務で付き合いがある寺院。本設問は優先順位をつける回答方法であり、合算

## 近親者が亡くなった際の執り行いたい葬儀



## 近親者が亡くなった際の葬儀に来てもらいたい僧侶



### 編集後記

今回の調査を通じて、過去から培ってきた仏教文化を感じると同時に、未来に相続していくための、積極的な情報発信の重要性も感じました。

先人たちが育んだ仏教の教えは、言葉だけにとどまらず、衣食住など様々な形で今日まで相続されています。その「仏教文化」ですが、未来に目を向けると、もしかしたら途絶えてしまいかもしれないと漠然とした不安を抱くことがあります。

不安を解消するために大切なのは、現状把握と具体的な行動だとすれば、本調査を踏み台として、情報が氾濫している時代の中で、本会及び加盟団体が積極的かつ信頼のおける情報の発信が求められています。

【調査記事監修】大和証券株式会社

した数値を見ると、一般（事前調査で特に信仰している宗教は無いと答えた方）では「葬儀社の紹介」や「お布施が安い」僧侶が高い。一方で仏教信者（信仰している宗派及び具体的な宗派名がなく仏教を信仰している方）では「故人との付き合い」を重視する傾向にあり、寺院や僧侶との関係性によって回答内容が違ってくる傾向が出ている。

仏教信者もそれ以外の方も、いずれにしても菩提寺の僧侶に来てほしいとの回答比率は高いが、菩提寺が遠方にあり住職が法務を執り行えない場合、火葬のみで済みます（済ませざるを得ない）方が増加する可能性も否定できない。菩提寺だけでの対応は難しい問題であり、宗派としても何らかの対応を考えなければ信仰心の高い檀信徒・門徒の後継者（子・孫）が菩提寺から離れ、ひいては信仰心を低下させていくきっかけとなってしまうことが容易に想定できる。多死社会を迎えつつある現在、どのような対応が出来るかを考える時間はあまり残されていないと思われる。

## 第一回広報委員会開催

四月二十日、産経新聞東京本社において第三十二期第一回広報委員会を開催した。当日は広報委員及び事務総局を含め十六名が参加し、伝統仏教界広報の充実を念頭に、加盟団体及び本会の広報活動について協議をした。併せて広報委員の更なる見聞を広めるため、施設見学を実施した。

広報委員会では、本会広報の報告や計画を説明しつつ、加盟団体間の情報共有の協議や本会広報に求めることを意見交換した。委員からは「加盟団体の広報物やwebの情報を蓄積してほしい」など、情報発信だけでなく情報管理についての要望があった。

施設見学では、産経新聞広報部の鶴谷和章氏による説明後、編集部や報道局に訪れ、新聞完成までの工程、校正作業、報道写真撮影などについて学んだ。見学後の質疑では「朝刊の掲載締め切りは何時か」「二版がないのはなぜか」プレス



施設見学の様子

リリースを実際に受け取る手順は」など、広報担当者としての知識や新聞製作にまつわる疑問を鶴谷氏に伺った。

## 第二回総務財政審議会開催

四月十七日に開催された、第二回総務財政審議会において、東京大学内大蔵経研究推進会議担当者を参考人として下田正弘氏（東京大学教授）・蓑輪顕量氏（東京大学教授）・高橋晃一氏（東京大学准教授）・永崎研宣氏（一般財団法人文情報学研究所研究員）・村瀬友洋氏（東京大学大蔵経研究会議事務）を招聘し、大蔵経テキストデータベースの概要、事業の進捗状況について説明を受けた。

### 【概要】

日時：平成二十九年四月十七日（月）

午後二時～

場所：明照会館四階第二会議室

出席理事：一名

出席委員：八名（十二名中）

代理出席：四名

参考人：五名

### ○進行内容

第一回総務財政審議会報告

大蔵経テキストデータベースの概要

事業進捗状況の確認

次回以降の審議内容の確認

## 第八回監査会開催

四月二十五日に開催された、第八回監査会において、平成二十八年度事業報告及び同決算書（案）について報告がされた。

平成二十八年度事業報告として、厚生年金や葬儀を巡る諸問題、義援金の拠出等調査研究活動、リニューアルしたwebサイトや花まつりのポスター等仏教文化活動、機関誌「全仏」等広報活動、遺骨返還問題等人権擁護活動、財団創立六十周年記念事業の取組み、救済活動支援や大蔵経テキストデータベース等、平成二十八年度公益目的事業の実施報告と会務の概要について、資料をもとに説明した。

続いて、平成二十八年度決算報告として、貸借対照表・正味財産増減計算書・正味財産増減計算書内訳表・財産目録・財務諸表に対する注記・付属明細書をもとに、平成二十八年度決算書（案）について、資料をもとに説明した。出席監事から当該年度に関わる事業報告と決算書（案）は適切であると認められ、閉会した。なお、平成二十八年度事業報告（案）及び決算書（案）は第十八回理事会上に上程する。

### 【概要】

日時：平成二十九年四月二十五日（火）

午後一時～

場所：公益財団法人全日本仏教会会議室

出席者（順不同・敬称略）

①監事：三名（三名中）

杉山令憲（岐阜県仏教会）

古澤勝浩（公益財団法人仏教伝道協会）

山中一郎（公認会計士）

②事務総局：五名

久喜和裕（事務総長）

和多善秀（総務部長）

和田学英（財務部長）

西岡慈圓（総務部次長）

矢萩祥恵（財務部主事）

## 京都東山特別拝観ツアー実施

五月八日～九日、京都市内において「京都東山の名刹 特別拝観ツアー」を実施した。当日は二十五名が参加し、歴史に育まれた仏教文化に触れていた。本会からは久喜和裕事務総長他職員三名が帯同した。

このツアーは、賛助会員を中心とした、本会事業へご協力くださっている方々に、改めて仏教文化に触れていただく願いのもと実施している。四回目となる今回は、永観堂禅林寺（浄土宗西山禅林寺派）、青蓮院門跡青龍殿（天台宗）、智積院（真言宗智山派）、金戒光明寺（浄土宗）を訪問した。各寺院のご協力のもと、朝の勤行に参列したほか、普段はお会いできない猊下のご法話や、一般的な特別拝観では拝見できない寺宝や場所にも訪れた。

参加者からは「様々な宗派の猊下の法話は中々聞けない」「自宗派との違いがわかりとても勉強になった」との声が聞かれた。



智積院 名勝庭園にて拝観

# 事務総局録事

## 4月(1日~15日)

- 2日 ▶ 宗教者災害支援連絡会第29回情報交換会出席  
東京・東京大学仏教青年会ホールA・B
- 3日 ▶ 黄檗宗祖真空華光大師穩元禪師正當忌出席  
京都・大本山萬福寺
- 4日 ▶ NTTコムマーケティング(株)久保田氏来局 事務総局
- 5日 ▶ 近畿日本ツーリスト(株)二日市氏来局 事務総局  
▶ 仏教NGOネットワーク神野氏他来局 事務総局  
▶ 文化庁田村氏他来局 事務総局  
▶ (株)産経新聞社赤堀氏訪問 東京・産経新聞東京本社  
▶ シュリ・シュリ・ラヴィ・シャンカール講演会参加  
東京・インド大使館
- 6日 ▶ 【浄土真宗本願寺派】平成28年熊本地震物故者一周忌追悼法要参列 熊本・本願寺熊本別院
- 7日 ▶ (株)オメガ・コミュニケーションズ五十嵐氏来局 事務総局
- 8日 ▶ 京都仏教会「おしゃかさまを讃える夕べ」出席  
京都・ANAクラウンプラザホテル京都
- 10日 ▶ 日中友好宗教者懇話会持田氏他来局 事務総局  
▶ 第37回「同宗連」総会出席 京都・しんらん交流館  
▶ 衆議院議員木村太郎秘書木村氏来局 事務総局
- 11日 ▶ 局内会議 事務総局
- 12日 ▶ 真言宗智山派小鷹氏訪問 東京・真福寺  
▶ 【曹洞宗】平成28年熊本地震復興祈願法要物故者供養法要参列 熊本・東禅寺  
▶ 浄土真宗本願寺派農氏訪問 熊本・本願寺熊本別院
- 13日 ▶ 無料法律相談開催 事務総局
- 14日 ▶ 朝日ビジネスソリューション(株)渡辺氏来局 事務総局  
▶ 【高野山真言宗】熊本地震物故者一周忌追悼・被災地復旧復興祈願法要参列 熊本・正福寺  
▶ 【浄土宗】平成28年熊本地震一周忌並びに復興祈願法要参列 熊本・西福寺  
▶ 【真宗大谷派】共に歩む熊本地震復興のつどい参列 熊本・東本願寺熊本会館
- 15日 ▶ 内閣総理大臣主催「桜を見る会」出席 東京・新宿御苑

## 4月(16日~31日)

- 17日 ▶ 曹洞宗山本氏訪問 東京・曹洞宗宗務庁  
▶ 天台宗杜多宗務総長他来局 事務総局

## ▶ 第32期第2回総務財政審議会開催

- 東京・明照会館第2会議室
- 18日 ▶ キヤノンマーケティングジャパン(株)深谷氏他来局 事務総局
- ▶ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)石井氏来局 事務総局
- ▶ 財団創立60周年記念事業第6回「第29回WFB世界仏教徒会議・第20回WFBY世界仏教徒青年会議日本大会」部会開催 事務総局
- 19日 ▶ 【天台宗】熊本地震物故者一周忌追悼並復興祈願法要参列 熊本・西蔵殿寺  
▶ 内閣府田村氏他来局 事務総局  
▶ (株)ディー・エイ・ティ・コーポレーション今林氏他来局 事務総局
- ▶ 大和証券(株)佐藤氏来局 事務総局
- ▶ 第4回福島実行委員会出席 福島・郡山ビューホテル
- ▶ 損保ジャパン日本興亜損保(株)菊池氏来局 事務総局
- 20日 ▶ 日中友好宗教者懇話会内山氏来局 事務総局  
▶ 高木義明衆議院議員訪問 東京・衆議院第2議員会館  
▶ 伊吹文明衆議院議員訪問 東京・衆議院第2議員会館  
▶ 自由民主党岩松氏訪問 東京・自由民主党本部  
▶ 第32期第1回広報委員会開催 東京・産経新聞東京本社
- 21日 ▶ FTエナジー(株)田丸氏来局 事務総局
- 24日 ▶ 局内会議 事務総局  
▶ BNN企画会議出席 東京・(公社)シャンティ国際ボランティア会
- ▶ 松本たけあき事務所梅津氏来局 事務総局
- ▶ 自由民主法曹団総会出席 東京・自由民主党本部
- 25日 ▶ 第6回監査会開催 事務総局  
▶ (株)JTB大橋氏来局 事務総局
- 26日 ▶ 仏法興隆花まつり千僧法要出席 奈良・大本山東大寺  
▶ 全日本仏教青年会発会四十周年記念式典出席 奈良・ホテル日航奈良「飛天の間」
- 27日 ▶ 比叡山宗教サミット30周年記念「世界宗教者平和の祈りの集い」第4回事務局会議出席 京都・しんらん交流館  
▶ 仏教を初歩英語で学ぶ会出席 東京・仏教伝道協会
- 27日 ▶ 財団創立60周年記念事業第5回式典部会開催 東京・明照会館第1会議室  
▶ (一財)100万人のクラシックライブ西原氏他来局 事務総局

	被災概況		被災寺院の具体的被災状況及び復興状況											
	総寺院数	被災寺院数	本堂						庫裏					
			全壊	再建済み	半壊	再建済み	一部損壊	再建済み	全壊	再建済み	半壊	再建済み	一部損壊	再建済み
熊本県	1371	584	30	1	106	1	238	7	56	2	66	0	172	17
大分県	1086	114	0	0	4	0	66	12	0	0	1	0	33	10
宮崎県	370	10	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	1	0
福岡県	1648	66	0	0	2	0	32	3	0	0	2	0	16	3
長崎県	595	23	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	1	1
佐賀県	786	107	0	0	0	0	85	3	0	0	1	0	23	3
鹿児島県	309	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	6165	904	30	1	112	1	434	25	56	2	70	0	246	34

※ 2017年5月1日現在 本会加盟団体59宗派を基に作成 (37宗派回答)

平成二十八年熊本地震  
県別被災寺院数の報告

# 各地の花まつり

真言宗智山派  
総本山智積院  
(京都府)



等々力不動尊  
(東京都)



高崎仏教会  
(群馬県)



観音寺  
(福島県)



高野山真言宗  
総本山金剛峯寺  
(和歌山県)



日蓮宗  
総本山久遠寺  
(山梨県)



高松市仏教会  
(香川県)



深川仏教会  
(東京都)



温泉津仏教会  
(島根県)



能代仏教会  
(秋田県)

富山市  
仏教連合会  
(富山県)



写真をお寄せ  
いただきました  
皆様、ありがとう  
ございました。

## 花まつり

ポスター・絵はがき デザイン募集中!

【詳細は本会webサイトをご覧ください。】



公益財団法人 全日本仏教会  
<http://www/jbf.ne.jp>



2017年6月1日発行  
6月号 第630号

金仏

発行人 久喜 和裕  
発行所 公益財団法人 全日本仏教会  
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2階 TEL 03(3437)9275 FAX 03(3437)3260  
印刷所 テイクイ ヘンデル アート